日本文化Ⅱ－Ⅰ

科目ナンバリング　JLT-103
【Ⅲ】　選択　2単位

細田　明宏

1. 授業の概要（ねらい）

日本では多くの芸能が人々に親しまれてきました。この講義では、日本における芸能の歴史について学びます。当期は、古代に海外から伝わってきた舞楽や伎楽・散楽などの芸能、さらに中世に成立した能・狂言について取り上げます。

2. 授業の到達目標

古代から中世にかけて成立した日本の舞台芸能について理解を深めること、そしてその特色を他人に説明できること。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験（60%）、小テスト・レポート（20%）、平常点（20%）を合わせて評価します。なお期末試験に代えてレポートを課す場合もあります。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

①事前に授業内容の概要を配布（PDFファイル）するので、それを読んでおくこと。なおその概要は、プリントアウトまたは要点をノートに書くなどして授業に臨むこと。②独立行政法人日本芸術文化振興会が運営するウェブサイトである文化デジタルライブラリー（http://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/）の「舞台芸術教材で学ぶ」を見ておくこと。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス～日本の芸能の特色
【第2回】　古代の外来芸能
【第3回】　舞楽
【第4回】　舞楽と管絃
【第5回】　雅楽：歌物、楽器
【第6回】　能とは
【第7回】　散楽
【第8回】　猿楽能
【第9回】　田楽と曲舞
【第10回】　世阿弥
【第11回】　能：武家の式楽
【第12回】　狂言とは
【第13回】　狂言：成り立ち1
【第14回】　狂言：成り立ち2
【第15回】　まとめ（期末試験）